

「第六次てだこ高齢者プラン（浦添市高齢者保健福祉計画・第8期浦添市介護保険事業計画）（素案）」

パブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見 番号	ご意見	市の考え方
1	<p>(12 ページ 12 行目)</p> <p>③住民相互の体制構築について</p> <p>ボランティア活動にポイント制度をもうけて、自身がお手伝い（支援）をするとポイントがたまり、自分が支援してほしいときに、ポイントで支援を受けられる。また、高齢者に限らず、子供の支援なども一緒に対応することで、新たな交流となるのではと思う。</p> <p>「コープおたがいさま牧港」が有償ボランティアを展開しているが、需要と供給が合わず全ての支援依頼を対応できないとの話があった。有償ボランティアを身近に活用できれば、毎回は互助でお願いできない場合や互助関係を構築できない方、多少の金銭のやりとりがあるほうがお願いしやすいなど、様々な場面で利用があると思う。子ども支援のファミリーサポートセンターよりも手軽に利用できるサービスがほしい。</p>	<p>地域には多様な支援を求めるニーズがあり、地域の互助をいかに活性化させていくかが求められています。</p> <p>ポイント制度をもうけるなど、新たな担い手の参加を促進し、支援依頼に即したきめの細かな対応ができるよう、また、支援をとおして新たな交流や地域の互助が一層育まれるような仕組みづくりや有償ボランティアの在り方なども貴重なご意見として検討を進めていきます。</p> <p>てだこ高齢者プランの上位計画である「てだこ・ゆいぐるプラン（第五次浦添市地域福祉計画・第六次地域福祉活動計画）2019 年度開始」の計画の中でも、検討していきます。</p>
2	<p>(48 ページ、4 行目)</p> <p>①家族介護者の負担軽減のための支援について</p> <p>家族介護者自身の心身の健康相談を行うに関して、現在介護を行っています。ケアマネから心身の健康状態がどうかきちんと聞かれたことはないです。質問事項などを事前に用意して、介護者側の状態を客観的に分かるようにしてほしいです。ケアマネによってレベルに差があるので。</p>	<p>高齢化とともに家族規模の小規模化も進み、一人あたりの介護負担は増大していくことが見込まれています。また、目まぐるしく変容する社会の中で、介護が必要になっても、家族介護者や高齢者等がともに自分らしい生活を送ることができるよう、家族介護者の支援は大切と考えております。</p> <p>浦添市介護支援専門員連絡会などと連携し、ケアマネ研修会との周知を行いケアマネのレベルアップを図ります。</p>

意見 番号	ご意見	市の考え方
3	<p>(53 ページ、11 行目)</p> <p>③専門職による地域活動や相談へのアドバイスと集いの場の周知について</p> <p>通いの場の整備や活性化に必要なアドバイス等の支援や事例紹介などあるが、事例紹介を浦添市の広報で毎月周知してほしいです。高齢者が元気に地域で過ごす姿を見せることで、浦添市が住みよいまちであることをアピールできると思います。</p>	<p>ご意見にあります、通いの場などの紹介については、市内外の方に浦添市の活動や住みやすさを知っていただく機会であることから、市の広報誌をはじめ、社会福祉協議会の広報誌などを活用して情報発信に努めていきたいと考えます。</p>
4	<p>市民課のロビーにあるテレビで社会保障制度について、市の財政がどのように動いているのか等を知ってもらう動画をながしてほしい。また、市民一人ひとりの健康が、市の財政に大きく関わることなど。</p>	<p>限りある財源の中から安定的かつ的確な福祉サービスを提供していくには市民みなさまのご協力が必要であることから、行財政や社会保障制度についての効果的な周知について検討していきたいと考えます。</p>